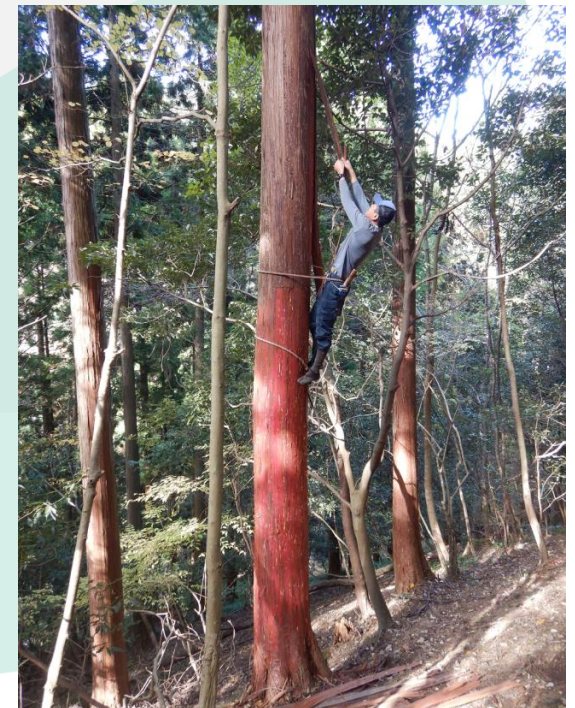




令和8年度 京都大阪森林管理事務所 重点取組事項



令和8年度 京都大阪森林管理事務所重点取組事項について

目次

1 公益重視の管理経営

2 森林・林業施策推進への貢献

3 民国連携及び民有林支援

1 公益重視の管理経営

国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、林産物の供給等の森林の有する多面的機能の発揮に向けて、多様な森林づくりを推進します。また、平成30年台風第21号等からの森林再生の取組、花粉症対策に向けた伐採と花粉の少ない苗木への植替えを推進します。

(1) 多様な森林づくりに向けた森林整備の推進

広葉樹植栽を含む災害に強い森林づくり

従来からのスギ、ヒノキを中心とした森林整備に加え、自然災害の跡地では、植生遷移を考慮した、広葉樹を含む様々な樹種の植栽を行う事で、生物多様性や景観の保全、防災等に寄与する森林づくりに取り組んでいます。



【森林再生に向けた広葉樹の植付】



(京都市 貴船山国有林)

台風の被害跡地にヤマザクラ、オオモミジ、ヤブムラサキなど、20~30種類の苗木を植栽しています。

配植に際しては、根系支持力の高い樹種を選定した上で、立地条件により、人目に触れやすい場所では景観に配慮し、土砂が移動しやすい急傾斜地では、根がより土砂移動を抑制する樹種を配置しています。



【配植図(各色が異なる樹種を示す)】

台風被害からの森林再生

平成30年に発生した台風第21号は管内の森林に風倒など甚大な被害をもたらしました。被害発生後、優先度の高い地域から被害木の伐採整理を行い、その後は林地保全と森林景観に配慮した広葉樹による森林再生に取り組んでいます。



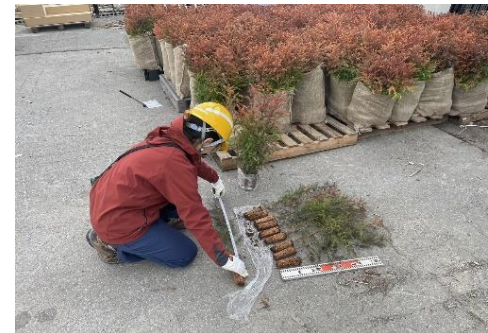
【風倒木被害の状況】



【被害木整理後】

花粉の少ない苗木を活用した森林の更新

スギ花粉症発生源対策として、重点区域に準じた国有林において伐採や花粉の少ないスギ苗木の植付に取り組みます。



【スギ少花粉苗木及び植付の様子】



(箕面市 箕面国有林)

治山事業の推進

豪雨等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、第1次国土強靱化実施中期計画に基づき治山事業を着実に実施し、防災・減災の取組を進めます。

優先度の高い箇所から溪間工による流出土砂の抑止、山腹工による斜面安定対策を進め、保安林機能の発揮に取り組むとともに風致景観に配慮した事業を行っています。

令和8年度は、荒廃溪流における溪間工、台風被害箇所における山腹工を計画しています。



【斜面上部における地山補強土工 左：R7実施、右：R8予定】
(京都市 貴船山国有林)



【景観に配慮した谷止工】
(京都市 高台寺山国有林)



【植生基盤形成のための保安林整備】
(京都市 嵐山国有林)

森林土木工事における新工法の活用

森林土木事業における新工法の取組を試行するとともに、普及に向け、施工効果を継続的に検証していきます。

安全で省力化が図られ、生態系に配慮した木材利用の促進につながる工法として、表層崩壊抑止効果を目的とした木製杭工法について、試験地で施工したところであり、本工法の施工効果等を今後も現地確認と検証を行っていきます。



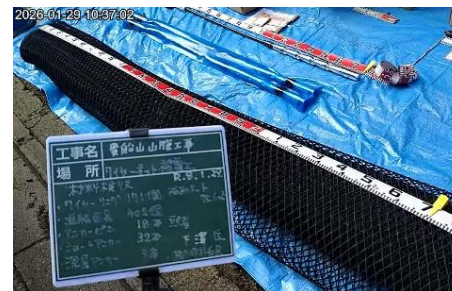
【木杭打設の状況】
(京都市 安祥寺山国有林)



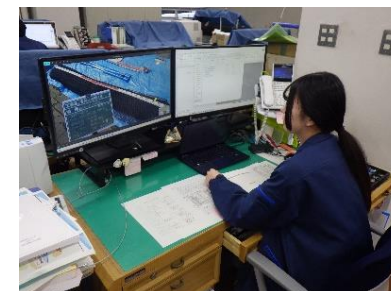
【木製杭工設置の状況】
(京都市 安祥寺山国有林)

森林土木工事におけるデジタル技術化の推進

工事現場において、監督職員と受注者がウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して段階確認、材料検査、立会等を行うなど森林土木工事におけるデジタル技術化を推進しています。



【工事現場】
(遠隔臨場での材料確認実施状況)



【事務室】

2 森林・林業施策推進への貢献

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする施業の効率化の実現に向け、生産性向上や低コスト再造林、効率的な鳥獣被害対策等に取り組むとともに、各種成果の民有林への普及を図ります。

(1) 施業の効率化の実現に向けた取組の推進

生産性向上と安全確保に向けた取組

請負事業者による木材（丸太）生産作業において、現場状況をふまえた作業システム・効率性の分析を行い生産性の底上げを行うなど、地域林業の成長産業化に貢献する生産性向上の取組を推進します。



(ハーベスタ：伐倒・造材)

また、林業における労働災害防止のための安全指導や関係機関を含めた協議会を開催するなど、請負事業者と連携した取組を展開します。



(ハーベスタ：集積)



生産性向上の取組(現地調査) 及び安全指導

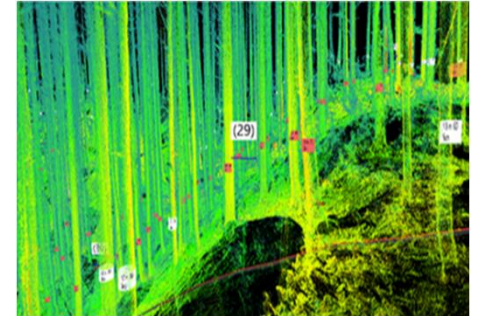


(双輪式フォワーダ：積込)

(京都府綾部市 奥山国有林)

新技術・ICT等の導入

製品生産事業等における収穫調査の効率化のため、職員の3次元地上レーザスキャナ（OWL）の操作技術の習熟を図り、収穫調査への積極的な導入・活用に取り組めます。



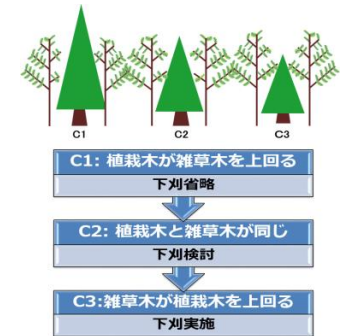
3次元解析画像による伐採木の選定（イメージ）

下刈りの実施時期の弾力化・削減への取組

再造林（植付）後に行う保育作業（下刈）は、低コスト化、省力化の観点から、下刈り回数の削減（下刈り省略）等に取り組めます。

また、労働安全性の向上や事業量の平準化の観点から、下刈り時期を夏季に限定せず、柔軟な設定を行います。

具体的には、植栽木と雑草木の競合状況や雑草木の種類を見極めながら、下刈り回数の削減や実施時期の弾力化に取り組めます。



下刈り省略の目安（判定基準）

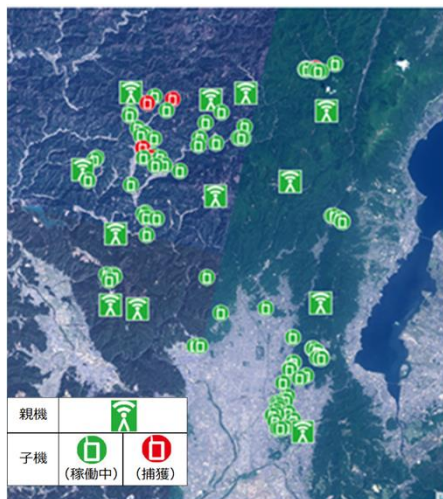


下刈箇所調査

地域との連携による捕獲の取組

京都大阪森林管理事務所では、京都市及び宮津市において、協定に基づき、LPWA（低消費電力の長距離無線）を利用し、罠が作動した際、設置者にメール通知する捕獲通報装置「ほかパト」子機の設置により、捕獲従事者の見回り活動の効率化を支援しています。また、協定と協調して親機を設置することにより電波状況を改善するなど、地域の実情に応じた協力を行っています。

野生鳥獣に対応するためには、地域が一体となって取組みを進めることが重要です。今後、有害鳥獣捕獲の効率化を図るため、地域との連携捕獲の取組みを進めていきます。



【親機・子機の状況(京都市内全域)】



【捕獲通報装置の仕組み】



国有林：

- ・わなの設置場所提供
- ・捕獲活動支援

自治体：

- ・捕獲従事者編成
- ・捕獲実施(国有林、周辺地域)

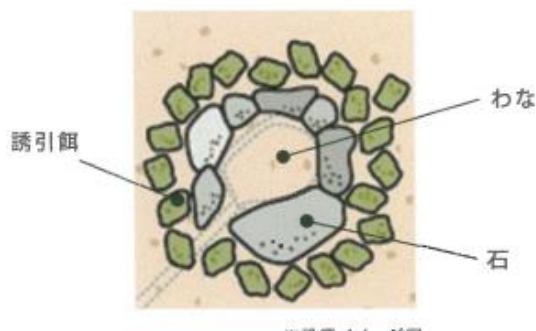
【協定概要】

委託によるシカ捕獲と小林式誘因捕獲法の普及

本山寺山国有林及び楊梅山国有林において、シカ捕獲委託事業を実施しています。事業では、従事者に対する設置・見回りが簡単で初心者でも効率的にシカを捕獲できる「小林式誘因捕獲法」の普及と捕獲通報装置「ほかパト」の活用を合わせて行うなど、効率的な捕獲に取り組んでいます。



【小林式くり罠により捕獲したシカ】



【小林式くり罠イメージ図】

壊れにくく、低コストな防護柵の設置

植栽木へのシカによる食害が想定される箇所には、防護柵等の被害対策を講じます。特に、防護柵の設置にあたっては、支柱として、現地立木を活用するとともに、シカの噛み切り予防効果が見込まれるアニマルネットを使用しています。

また、降雨時に沢部のネットが周囲のネットを巻き込まず壊れることでネット全体の被害を最小限にできる「受け流す柵」を使用するなど、地形などの条件を踏まえた防護柵の設置に取り組めます。



【アニマルネットの使用】



【「受け流す柵」の使用】

(3) 木材の安定供給・利用

木材の安定供給の推進

公益重視の管理経営を推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるように木材需要者のニーズを踏まえた採材にも取り組みます。

また、国有林材等の安定供給システムによる販売（システム販売）を展開し、間伐材等を含め国有林材のさらなる安定供給に取り組みます。



事業地から出材された丸太
(京都市 大悲山国有林)

森林土木事業での木材利用

治山及び林道事業において、木材利用工種を優先的に採用することとし、クリーンウッド法に基づく合法伐採木材等の利用促進を図ります。



木材残存型枠の設置
(京都市 安祥寺山国有林)



本数調整伐箇所の丸太筋工設置
(京丹後市 須川国有林)

文化財保護への貢献

林齢80年生以上のヒノキ人工林に設定している檜皮（ひわだ）採取対象林において、重要文化財等の歴史的木造建造物の修復用材として使用される檜皮の持続的な供給や、国有林のフィールドを活用した技術者（原皮師・もとかわし）の養成に貢献します。



檜皮の採取 (京都市 鞍馬山国有林)

また、文化財修復に必要なとなる檜皮、大径長尺材や特殊樹種の備蓄や供給するための森林を設定しており適切な管理を行います。

世界文化遺産貢献の森林

世界文化遺産「古都京都の文化財」に指定されている社寺の周辺の国有林約700haを「世界文化遺産貢献の森林」に指定し、檜皮供給、文化財用材の供給、風致保全、森林と文化財の関わりの学習に取り組みます。こうした取組を通じて「木の文化」の継承に貢献します。



世界文化遺産貢献の森林 (京都市内の国有林)

3 民国連携及び民有林支援

戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが重要です。これらを民有林と国有林が協力して実現させるべく、国有林のフィールドや技術を活用して民有林関係者等多様な主体への支援に取り組みます。また、レクリエーションの森では修景伐採を行うほか、協議会等と連携し林相改善に取り組んでいます。

(1) 多様な主体への技術支援・普及

市町村支援に関する情報発信

市町村支援について取りまとめたパンフレット「国有林における市町村支援メニュー」や国有林が取り組む技術開発の成果を民有林に普及するために作成した「森林・林業技術視察プログラム」を各種会合等において紹介するなど、市町村支援に関する情報発信に努めます。

市町村支援メニューの例

- 森林・林業の基礎知識
- 森林調査のICT化
- 国有林の造林・保育の低コスト化
- シカ防護柵の設置方法
- 近年頻発する山地災害への支援



市町村支援メニュー



視察プログラムメニューの例

- コンテナ苗（一貫作業と下刈りの省力化）
- 針広混交林化（天然性広葉樹の活用）
- 早生樹センダン
- 列状間伐
- スマート林業



森林・林業技術視察プログラム



現地検討会等を通じた民有林支援

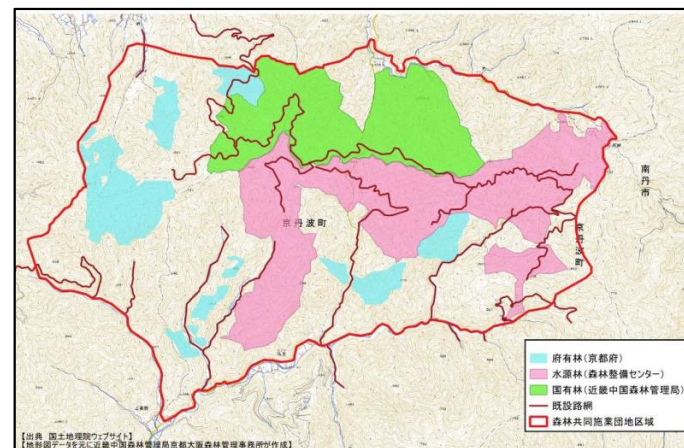
地方公共団体が抱える地域課題やニーズを踏まえ、府及び市町村の林務担当職員を対象とした現地検討会で、国有林の取組を紹介するなど、施業の効率化の実現に向け低コスト化及びメンテナンスの省力化に資する実務的な知見の定着のため取り組んでいます。



R7年度現地検討会（アニマルネットを活用したシカ被害対策）（箕面国有林）

民国連携の推進

民有林で行う森林の集約化モデル地域実証事業への参加や、森林共同施業団地内における国有林林道の活用や作業道の相互利用等により、民国連携の強化を図ります。



京都府、森林整備センターと国有林の森林共同施業団地(古屋国有林)

(1) 多様な主体への技術支援・普及

民国連携及び民有林支援

林業大学等への支援

各大学（京都府立大学、京都大学、近畿大学）との協定に基づき実習フィールドとして国有林を提供するほか、林業大学等による実習に対し講師として職員を派遣するなど、人材育成を支援します。

また、大学生が自ら企画・立案して行う森林体験学習において、運営など後方支援による人材育成支援にも取り組んでいます。



京都大学の現地実習
(京都市 高台寺山国有林)



近畿大学の現地実習(くくり畷実習)
(箕面市 箕面国有林)

国民参加の森林づくり

民間団体等と協定を締結し、国民参加による森づくりに取り組み、補植や除伐等の森林作業体験や森の恵みを用いた工作体験等の支援を行います。



ふれあいの森(UAきずなの森)
除伐作業体験

(京都市 銀閣寺山国有林)



社会貢献の森(トラックの森)工作体験

森林環境教育の推進

小学校での出前授業のほか、地域団体・ボランティア主催の森林教室におけるフィールドの提供及び職員が説明役や運営補助を担うなど森林環境教育の推進に寄与しています。

ボランティア主催の
森林教室への支援
(京都市 衣笠山国有林)



地域との意見交換を通じた林相改善

嵐山国有林では、地元関係者等と連携した森林整備に取り組んでいます。京都大阪森林管理事務所が意見交換会及びワーキングを年2回以上開催し、地元関係者及び専門家の参加を通じ幅広い視点から検討を行うとともに、その検討結果に基づき、地元関係者等とともに森づくりを進めています。



嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会



地元関係者及び専門家による現地調査

レクリエーションの森における取組 (日本美しい森 お薦め国有林)

東山風景林 (京都府：高台寺山国有林)

高台寺山国有林では、京都伝統文化の森推進協議会とレクリエーションの森協定に基づくサポーター制度を活用し、古都京都にふさわしい森づくりを目指し、同協議会による林相改善事業や、除伐イベントによる森林整備活動のほか、清掃活動や希少植物であるキクタニギクを復活させる活動等も行っています。

国有林においても景観改善のための修景伐採や遊歩道沿いの危険木の除去等に取り組んでいます。



協議会専門委員による現地調査
(清水山地区)



林相改善事業による整備
(清水山地区)

明治の森箕面自然休養林 (大阪府：箕面国有林)

箕面国有林は、国定公園にも指定されており、箕面市や大阪府の行政機関や、NPO法人など多くの民間団体からなる明治の森箕面自然休養林管理運営協議会とレクリエーションの森協定を締結し、会員による森林整備など様々な活動に取り組んでいます。また、森林体験学習の場としてフィールドの提供も行っています。



明治の森箕面自然休養林管理運営協議会



箕面の山大掃除大作戦
ボランティアによる清掃活動



ボランティアによる清掃活動により
集めたゴミ (東山クリーン作戦)



キクタニギクの咲く菊渓(キクタニ)
の森づくり植栽作業



行政機関等と登山道のパトロール



ボランティアによるシカ防護柵設置

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和8年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	10.9
	間伐	千m ³	6.0
販売	立木販売	千m ³	10.9
	製品販売	千m ³	1.5
造林	地拵え	ha	6.1
	植付	ha	6.5
	下刈り	ha	10.9
	つる切・除伐	ha	—
	保育間伐 (活用型)	ha	31.5
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	—
林道	林道新設	m	290
	改良	m	—
治山事業	国有林直轄治山	百万円	453.5
	民有林直轄治山	百万円	—

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

京都大阪森林管理事務所

京都府京都市上京区西洞院通り
下長者下ル丁子風呂町102

☎ 075-414-9822

✉ kc_Kyoto@maff.go.jp